

○野崎豊¹、野崎恵子²、太井秀行³、渡邊康光³
菊池佑二⁴

1ノザキクリニック、2兵庫県高砂保健所、
3赤穂化成株式会社、4農林水産省食品総合研究所

【目的】梅乃酢の血流動態への影響の解明

【方法】「紀州南部の梅乃酢」(赤穂化成株式会社製)を1日100mlを水で4倍に希釈した溶液を用いて、インフォームドコンセントがとれたボランティアを含む18人に急性負荷試験および、慢性服用試験を行った。血液レオロジーの変化は一昨年本学会に報告したマイクロチャンネルアレイによる血液レオロジー計測装置を用い行った。

【成績】レオロジー変化については急性負荷効果は同量の水負荷の改善(3.23%)に比較し、梅乃酢負荷では7.22%と2倍以上の改善を見、これらは統計的に有意であった(n=6, p<0.05)。また、同一人の効果を比較すると6人中4人において2倍以上の改善を認めた。慢性服用(1ヶ月間)試験では梅乃酢に2.4%の改善を見た。次に慢性服用者の臨床症状の変化を観察した結果、有意な変化として血圧低下(収縮期圧12%、拡張期圧13%の低下)および血中中性脂肪の改善(21.5%低下)を認めた。他方、血中コレステロールは0.8%低下してしたが、有意差は認められなかった。また、同一人の比較では全員に血圧低下、5人中4人に中性脂肪の低下を認めた。

【結論】梅乃酢は普通の酢と異なりクエン酸含量が多く、抗酸化活性、DPPHフリーラジカル消去活性をもつことが明らかになっている。今回人体への影響を調べた結果、血圧改善効果と血中中性脂肪改善効果を認めた。さらに基礎的研究ではレオロジー改善を認めた。これらの結果より梅乃酢の中性脂肪改善がレオロジー的改善につながり、それが循環器動態の改善(血圧低下)を引き起こしたと推察した。